

なかよし・けんこう・とよく
天見小校長室だより 10月号
 人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

令和6年9月30日
 天見小学校

昼の気温予報を見ていると 30℃、31℃と、まだまだ暑さが残っていますが、先週あたりから、朝夕には、少し涼しさを感じるようになりました。

先日 17 日には「中秋の名月」でした。あまりに美しい月だったので、カメラに収めてみたところ、月の明るさにびっくりしました。まるで、昼のように空が輝いて見えました。あまりの美しさに、しばしの時間見とれるほどの月でした。秋が一步ずつやってきているのを感じています。



9月25日・26日 待ちに待った「修学旅行」

9月25日・26日に修学旅行に行ってきました。両日ともお天気に恵まれ、最高の修学旅行日和でした。

朝、7時という早い時間にも関わらず、遅れず集合でき、バスに乗り込み出発しました。たくさんの保護者の方にもお見送りしていただき、帰りも笑顔で帰ってくることを約束して、いざ、信楽の里へ。

バスの中では、早速バスレクで楽しみました。面白いクイズをたくさん出してきて、頭の体操になりました。司会は俊史さんと鳳磨さんと結人さんの名トリオ！漫才のような掛け合いあり、メのお言葉ありで、めちゃくちゃ楽しみました。私はその様子を見ながら、何年前前に出演していたテレビでの二人を思い出していました。そのころの掛け合いより一人増えてずっとグレードアップした面白さがあってよかったです。

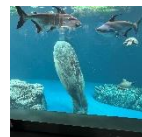


「宗陶苑」につき、めいめいに自分の作りたい陶芸に挑戦していました。お茶碗、湯呑み、お皿、縄文土器・・・等、作った作品に大満足の様子でした。本当に上手にできたなと感心したほどです。きっと思い出あるこの作品を大切に使ってくれるのではないかと思います。作品が届くのが楽しみです。



お弁当の時間、俊史さんが、「まだ、修学旅行に来ている感じがしない。遠足みたいやもん。」なるほど！まだお泊りしていないから遠足といってもおかしくないですね。あまりにこの日を待ち望んでいて、修学旅行に向かっていること自体が信じられなかったのではないかと思います。子どもたちの写真を撮っていると、「校長先生、映っていないやん。自撮りしな・・・。」と優しい言葉が・・・「じゃあ、自撮りするね。」珍しい写真ですが、後ろにいるみんなの笑顔が可愛すぎる・・・私にとっても思い出に残るいい写真になりました。

次は鳥羽水族館へ。今年はずっぴりの時間をとって、ゆっくりいろんな魚を見れたと思います。何が一番お気に入りでしたか。校長先生はアフリカンマナティがまん丸くてとてもかわいかったです。



さて、予定を全部満喫して、待ちに待ったお宿へ・・・。「えっ、こんなところに泊まれるの？」大きなお宿で、部屋もきれいで、テンションMAX！「やっぱり修学旅行だ！」そんな空気変わった瞬間でした。



お食事は本当においしく、一口食べたご飯が「おいしい。」とみんなが口をそろえて漏らした言葉。後で若女将に聞いてみると、隣町で作られているお米だそうで、毎年、伊勢神宮に奉納されているお米と同じものを使っているそうです。いつもはお替わりしないけれど、今日



ばかりはと、お替わりした子もいるし、2杯といわず3杯目、4杯目・・・中には8杯食べた子もいました。部屋では男子部屋、女子部屋どちらからも楽しげな声がかつていました。カードゲーム、ダンス、トーク色々楽しい遊びばかりだったんでしょう。

次の日、朝ご飯もしっかりいただき、退所式を迎えました。章人さんは、「とてもきれいな景色と美味しいご飯がとても嬉しかったです。」と、宿に泊まった感想を自分の感じたままにちゃんと伝えてくれて、それにこたえて女将さんがこんな話をしてくれました。

「私たちの仕事はお客さんが喜んで泊まってくださるようにお食事や掃除をしっかりすることです。その気持ちがみなさんに伝わってとてもうれしいです。この楽しい修学旅行に行かせてくれたお家の方に感謝してくださいね。また大きくなって、自分のお金で来れるようになったら、この宿に遊びに来てください。」とおっしゃいました。キャリア教育を1年かけて学んでいるみなさんにものごく響いた言葉だったのではないかと思います。

来てくださるお客さんのために一生懸命にお仕事することで相手を喜ばせることができる・・・真心と誠実な態度がどれだけ大切かということをお教えたのではないかなと思うからです。きっと章人さんの感想もその真心に応えられるような素敵な感想だったのだと思います。

そして、最後のお楽しみ・・・志摩スペイン村に行ってきました。絶叫マシンに乗りたい人、乗れない人色々いますが、みんながみんなのことを思いながらの行動は本当に素晴らしかったです。俊史さんが、「最後はみんなで一緒にピレネーに乗りたい。12時40分に集合しよう。」と声をかけてくれました。先にも言いましたが、いろんな意見があるのが人間です。思いがあっても一人では完成しないのです。でもその思いに全員が応えた。誰も嫌とは言わず「OK！」と言った。乗れない子も「OK！」と言った。素晴らしいではありませんか。この修学旅行に向かうみなさんの仕事ぶりはまさしく女将さんの言うところの真心と誠実さと優しさでいっぱいだったことを担任から聞いています。最後の行動に表れているように、みんなで一つのことを完遂して、最後までみんなで楽しんだ修学旅行だったのではないのでしょうか。

天見小学校の子どもたちは6年間でこんなに育ちました。どの学年でも、どんどん子どもたちの優しさや認め合いが育ってきています。これもお家の方々の優しく子どもの自主性を大切に育ててくださっているからと感謝します。

今日9月27日は、1年生から4年生がたて割り班で遠足に行ってます。4年生は「うまく下級生を連れていくことができるか。」もう一週間も前から緊張していました。それも成長のひと時。みんなが楽しかったと言いながら帰ってきてくれることを、楽しみに学校で待っています。子どもたちの成長が感じられる時がこの仕事をしていて一番の感動です。毎日全力で子どもたちと関わっていく中で、その瞬間がたまらなく嬉しいのです。今日も素敵なエピソードが、生まれていますように。